

(学年) 1年生, (教科・科目) 総合的な学習の時間

協働学習

(単元) 職業調べ学習 発表

(本時のねらい)

本単元では、職業調べを通して、自分の将来の夢や目標を見つけさせ、それに向かって今からどんなことをすればいいのか、自己の生き方について考えさせるものである。早くて2年後に社会に出て行く生徒にとっては、職業に関する知識だけではなく、意識面での成長も促す必要がある。また、働くことの価値を形成し、社会の分業について理解を深めることや、将来の進路を自分で意思決定する能力を高めることも必要である。そこで、本時では、グループで活動することにより、他者と協働することでお互いに刺激しあいながら、仕事の大切さについて理解を深め、職業選択に対する関心・理解を高めるとともに、自己実現に向けて努力する意欲につなげていきたいと考える。

(ICT活用方法)

各班が調べた職業について説明するために、プレゼンテーションソフトを用いてプレゼンを行う。従来は模造紙などにまとめて発表していたが、一人一台端末を用いて調べ学習から発表までを行わせることによって、職業についてより生徒自身の関心に沿って調べさせることができるとともに、スライドの見せ方を工夫し生徒同士で相互評価を行わせることによって学習や進路実現に対する意欲につなげていくことをねらいとした。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	・本時の流れについての説明を聞く。	・発表の順番や相互評価の仕方をスライドで説明した。	
展開 45分	・グループごとに、2分以内でパワーポイントにまとめた内容を発表する。 ・発表を聞いて1分間でまとめるとともに、相互評価表を記入し、感想を書く。 ～以下、繰り返し～	・1分30秒で、発表者に対して残り30秒の合図を行う。	・事前に作成させていたプレゼン資料を基に、グループで協力して発表をおこなう。
まとめ 5分	・本時のまとめを聞く。		

(授業の様子)



発表の様子①



発表の様子②

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

多くの生徒が単元全体を通して、非常に意欲的に学習に臨むことができたことに加え、発表の際には集中して友人の声に耳を傾けることができていた。動機付けや調べ学習や発表用のツールとしては非常に効果が高いと感じたが、発表内容に関しては、一部の生徒のものはインターネットの情報のみで構成されており、一面的で具体性がないものになってしまった。各教員によって適宜指導が行えるように研鑽を積む必要性を感じるとともに、ネットリテラシー等についても別途指導が必要に感じた。